

会 告

日本鉄鋼協会第74回講演大会開催ご案内

会 員 各 位

日本鉄鋼協会会長 佐 野 幸 吉

本会はきたる10月1日(日), 2日(月), 3日(火)の3日間北海道大学教養部において, 第74回講演大会を, また日本金属学会と合同で, 10月4日(水), 5日(木)の両日札幌市および室蘭市付近の主要工場その他の見学会を開催いたします。

大会ご出席の方は, 下記要領をご覧の上, ふるつてご参加下さるようご案内申し上げます。

記

日 程	10月1日(日)	9:00 開会式, 特別講演会(予定)
		13:00 学術講演会, 討論会
		18:00 懇親会
	10月2日(月)	9:00 学術講演会, 討論会
		9:30 レディースプログラム
	10月3日(火)	9:00 学術講演会, 討論会
	10月4日(水)	8:30 札幌地区見学会
	10月5日(木)	9:30 室蘭地区見学会

会 場	学術講演会	北海道大学教養部(札幌市北17条西8丁目)
	懇親会	グランドホテル(札幌市北1条西4丁目)

講演プログラム 会誌第9号(8月号)に仮プログラムを掲載いたします。

講演概要集 講演前刷は「講演概要集」としてオフセット印刷のうえ, 会誌「鉄と鋼」11号(臨時増刊号)に掲載, 会員全員に配付いたします。

懇親見学会
レディースプログラム

全国各地からお集りになれる会員各位には, 唯一の交歓親睦の場として奮つてご参加下さい。

今回は会員夫人ならびに家族のために「レディースプログラム」が編成されておりますので, 会員各位にはご同伴のうえ, 懇親会と合わせご参加下さるようご案内いたします。

なお, 詳細は会告 N71 ページをご参照下さい。

日本鉄鋼協会行事案内

開催月日	行事(カッコ内は開催地)	申込締切	会 告
6月 30(金)	第74回講演大会講演申し込み	申 込 要	N77
8月 10(木)	第74回講演大会原稿締切日		N77
21(月)	第10回技術講座(東京)	申 込 不 要	N79
22(火)	「鉄鋼製錬の化学工学」		
10月 1(日), 2(月), 3(火)	第74回講演大会(札幌)	申 込 要	N71
4(水), 5(木)	〃 見学会		

昭和42年度日本鉄鋼協会・日本金属学会秋季講演大会実行委員

(敬称略五十音順)

顧問

阿部 与 北海道大学工学部長
 雨宮 登三 北海道工業開発試験所長
 大坪喜久太郎 室蘭工業大学学長
 鍵和田暢男 (株)日本製鋼所室蘭製作所常務取締役
 所長
 佐藤 健二 北海鋼機(株)代表取締役社長
 高橋 長之 豊平製鋼(株)取締役社長
 長井 弘 北海道工業試験場長
 林 泰 富士製鉄(株)室蘭製鉄所専務取締役
 所長
 原田 与作 札幌市長
 福富 孝治 北海道大学理学部長
 堀内 寿郎 北海道大学学長
 町村 金五 北海道知事
 森永 孝三 富士製鉄(株)中央研究所取締役研究所
 長付

実行委員長

竹内 秀夫 日本鉄鋼協会北海道支部長

副実行委員長

館野 万吉 (株)日本製鋼所室蘭製作所取締役
 副所長

丹羽貴知蔵 北海道大学理学部教授

萩原 巖 " 工学部教授

吉井 周雄 日本金属学会北海道支部長

実行委員

安孫子義雄 北海道工業開発試験所企画課長

阿部 三郎 室蘭工業大学金属工学科教授

池見 恒夫 (株)日本製鋼所室蘭製作所主任部長

打越 貢 " 札幌出張所長

岡本 剛 北海道大学工学部教授

小谷 守彦 (株)日本製鋼所室蘭製作所鍛錬部長

小野寺真作 (株)日本製鋼所室蘭製作所主任研究員
 金森 祥一 室蘭工業大学金属工学科教授
 鎌田 林平 北海道工業試験場選鉱精錬部長
 神居 詮正 富士製鉄(株)室蘭製鉄所製鋼部長
 楠野 桂三 富士製鉄(株)室蘭製鉄所製鉄部長
 工藤 重蔵 豊平製鋼(株)発寒製造所長
 佐藤 進一 北海道大学工学部教授
 佐藤 久男 北海道工業試験場機械金属部長
 下地 光雄 北海道大学理学部教授
 城本 義光 富士製鉄(株)室蘭製鉄所研究員
 高橋 忠義 北海道大学工学部助教授
 高宮 克弥 富士製鉄(株)室蘭製鉄所化工部長
 竹山 太郎 北海道大学工学部教授
 田中 時昭 "
 田阪 興 富士製鉄(株)室蘭製鉄所研究員
 田島喜久雄 " 研究所長
 土肥 正治 " 技術管理部長
 中江 仁 北海道大学工学部教授
 長岡 金吾 "
 中川 義隆 (株)日本製鋼所室蘭製作所主任研究員
 中野 勇 富士製鉄(株)札幌営業所調査役
 西田 恵三 北海道大学工学部教授
 平本 清房 北海鋼機(株)常務取締役管理部長
 前川 静弥 (株)日本製鋼所室蘭製作所研究所長
 松原 嘉市 北海道大学工学部教授
 緑川 林造 "
 宮原 将平 " 理学部教授
 宮野樺太男 (株)日本製鋼所室蘭製作所主任研究員
 守川平四郎 " 製鋼部長
 師岡 保弘 室蘭工業大学金属工学科教授
 山内 仁 富士製鉄(株)室蘭製鉄所生産管理部長
 渡辺 勝也 北海道大学工学部教授

懇親会の申し込みについて

— 申込締切日 9月14日 —

講演大会に際し全国各地からお集りになる会員各位の親睦の場として、下記のごとく懇親会を開催いたします。会費などについても、より多くの方々にお気軽にご参加いただけるようにいたしました。

また、この機会に会員各位ご夫人同伴でご参加いただき、より明るい雰囲気での催しとしたいと思いますので、多数ご参加下さるようご案内申し上げます。

記

1. 日 時 昭和42年10月1日(日) 18:00~19:30
2. 会 場 札幌グランドホテル(札幌市北1条西4丁目)
3. 会 費 300円(パーティー式)
4. 申込締切日 昭和42年9月14日(木) 16時着信まで
5. 申込方法 別添申込書に必要事項ご記入のうえ、会費(現金書留)を添えお申し込み下さい。
ご夫人のご参加は別添「レディスプログラム、懇親会」参加申込書にてお申し込み下さい。
なお見学会にも参加希望される方はなるべく見学会の申込時に一括お申し込み下さい。
6. 申 込 先 東京都千代田区大手町 1-5 経団連会館3階
日本鉄鋼協会 懇親会係 電話 東京(03) 279-6021(代)

見学会申し込みについて

— 申込締切日 8月10日(木) —

見学会に参加を希望される方は、下記要領をご覧のうえお申し込み下さい。

今回は会員夫人ならびに家族のために「レディスプログラム」を設けました。会員各位にはご家族にお勧めいただき、ご参加下さるようお願いいたします。

記

- | | |
|-------|---|
| 見 学 会 | 10月2日(月) レディスプログラム
10月4日(水) 札幌ならびに洞爺、登別
10月5日(木) 室蘭 |
| 申込締切日 | 昭和42年8月10日(木) 16時着信まで |
| 申込方法 | 別記「見学会申し込み上の注意」をご覧の上、別添申込用紙(1人1枚)に必要事項を記入し、会費(現金書留)を添えお申し込み下さい。会費の添付されないお申し込みは受付いたしません。 |
| 見 学 先 | 見学先はN 72 ページの見学班表からお選び下さい。 |
| 会 費 | (それぞれの金額にはバス代、昼食代を含む) |
| | 見学会 1班, 2班, 3班 1,300円 |
| | 4班, 5班 700円 |
| | レディスプログラム 1,300円 |
| 申 込 先 | 東京都千代田区大手町 1-5 経団連会館3階
日本鉄鋼協会 見学会係
電話 東京(03) 279-6021(代) |

第74回講演大会における宿舎について

第74回講演大会および見学会における宿舎の予約を希望される方は、各自最寄りの日本交通公社を通じ申し込み旅館クーポン券をご手配下さい。

お申し込みの際には「全国大会参加」の旨と「日本鉄鋼協会会員」であることを申し添えて下さい。宿泊料金は1人1泊2食付(税・サービス料別)で1,500円~4,000円ですが、宿泊地および合部屋などにより多少料金の差があります。交通公社と相談のうえご手配下さい。

なお、10月上旬は観光シーズンですので、早目に予約されることをお勧めいたします。

昭和42年秋季大会見学班表

班	月日	参加費 (含む昼食)	コース (経過時刻には変更があります)	見学内容	備 考
1 (50名)	10/4	1,300 円	8:30出発 9:10 10:20 11:10 北大教養部前—鉄工団地—手稲オリンピック ^① 12:10 13:40 14:20 (昼食)(手稲,花 ^{バナナゴ} 畔,茨戸経由) ^② —雪印乳業 14:40 15:20 15:40 —サッポロビール—札幌駅前解散	○鉄工団地 豊平製鋼その他 (鋳物,メッキ) ○雪印乳業 バター,市乳,ア イスクリーム製造 ○サッポロビール ビール製造	① 札幌オリンピック回 転競技場予定地 ② 石狩平野を眺望 登別,室蘭方面の方は札 幌駅発16時5分急行ちと せ5号,とうや3号に接 続します.
2 (100名)	10/4	1,300	8:30出発 9:00 10:30 12:00 北大教養部前—工業技術院北海道工業—支笏 開発試験所 13:00 13:50 14:10 14:40 15:10 湖畔 ^① (昼食)—苫小牧工業港 ^② —白老 ^③ — 15:50 登別温泉地獄谷解散 ^④	○工業技術院北海道 工業開発試験所 石炭化学および工 業分析	① 国立公園 ② 砂浜を掘り割つた特殊 な工業港 ③ アイヌ部落 ④ 登別温泉の湯元 温泉街まで徒歩5分, 10月5日室蘭地区見学の 方は温泉街から出るバス を利用(約45分)
3 (100名)	10/4	1,300	8:30出発 9:10 10:10 北大教養部前—日本鋳業豊羽鋳山選鋳所 11:10 11:50 —中山峠 ^① (昼食)—(洞爺湖畔,洞爺温泉街 13:20 14:00 15:10 経由 ^②)—昭和新山 ^③ —硫黄鋳山経由 ^④ —オ 15:25 15:50 ロフレ峠 ^⑤ —登別温泉地獄谷解散 ^⑥	○日本鋳業豊羽鋳山 選鋳所 鉛,亜鉛硫化鋳の 浮選	① 国立公園 蝦夷富士の眺望雄大 ② 国立公園 ③ 国立公園 昭和18年にできた活火 山 ④ 北海道硫黄壮瞥鋳業所 ⑤ 眺望雄大 ⑥ 2班 ^④ と同じ このコースはほとんど国立 公園になつている。 洞爺湖温泉に宿泊され,室 蘭地区見学に参加の方は, 温泉街から出るバスを利用 (約1時間10分)
4 (100名)	10/5	700	9:30出発 9:50 12:00 12:15 13:00 東室蘭駅—日本製鋼所—測量山 ^① (昼食)— 13:20 15:30 15:40 富士製鉄—東室蘭駅解散	○日本製鋼所 鍛錬工場 圧延工場 機械工場 製鋼工場ほか	① 測量山 室蘭市内,噴火湾の眺 望が良い。 東室蘭駅発16時8分上り特 急おおとりに接続します。 御希望の方には室蘭駅まで バスで送ります。
5 (150名)	10/5	700	9:40出発 9:50 12:00 12:20 13:05 東室蘭駅—富士製鉄—測量山 ^① (昼食)— 13:20 15:30 15:50 日本製鋼所—東室蘭駅解散	○富士製鉄 製鉄工場 圧延工場 コークス工場ほか	
レ デ イ ス グ ラ ム (50名)	10/2	1,300	9:30出発 9:50 10:10 11:10 11:40 北大教養部前—月寒羊ヶ丘 ^① —ミンク飼育 場 ^② 12:00 13:00 13:40 苫小牧パイロットファーム ^③ (昼食)—千オフ 14:10 15:20 15:50 16:00 化場 ^④ —サッポロビール—札幌駅前解散	○サッポロビール ビール製造	① 羊の放牧 ② ミンクの飼育 ③ 若鶏の飼育を大自然の 中で行なつている。 ④ 鮭のフ化,養殖

- (注) 1. 各班とも工場内での写真撮影については,工場側の指示に従つて下さい。
2. 見学者は学会用意のリボンを必ずつけて下さい。(会場にて配付)
3. 見学定員は両学会の合計といたします。
4. 各班の出発時間は次の通りです。お間違いなくご集合下さい
1, 2, 3 班 9:30 北大教養部前
4 班 9:30 東室蘭駅前
5 班 9:40 東室蘭駅前
レディスプログラム 9:30 北大教養部前

第 74 回講演大会「見学会」参加申込書

申込締切日 8 月 10 日 (木) 16時着信まで

送付方法 申込書添付のうえ、現金書留にてお申込み下さい。

送付先 東京都千代田区大手町 1-5 経団連会館 3階

日本鉄鋼協会 見学会係

会 員 資 格	名 誉	賛 助	正	学 生	該当を○で囲んで下さい。	
ふりがな 氏 名						
勤務先および 職 名						
勤務先所在地						
領収書送付先						
通信先(勤務 先と違う場合)						
見 学 希 望	班 別	希 望 順 位	会 費 (円)	班 別	希 望 順 位	会 費 (円)
	1		1,300	2・5		2,000
	2		1,300	3・4		2,000
	3		1,300	3・5		2,000
	1・4		2,000	4		700
	1・5		2,000	5		700
	2・4		2,000			
送 金 額		¥				

.....切.....取.....線.....

第 74 回講演大会「懇親会」参加申込書

申込締切日 9 月 14 日 (木) 16時着信まで

送付方法 申込書添付のうえ現金書留にてお申込み下さい。

送付先 東京都千代田区大手町 1-5 経団連会館 3階

日本鉄鋼協会 懇親会係

会 員 資 格	賛 助	正	学 生	該当を○で囲んで下さい。		
ふりがな 氏 名						
勤務先および 職 名						
勤務先所在地						
領収書送付先						
通信先(勤務 先と違う場合)						
出	欠	送 金 額		¥	300	

切

取

線

見学会参加申し込み上の注意

1. 見学会申し込みは本会会員に限ります。代理人の見学はお断わりいたします。レadiesプログラムは会員の夫人ならびに家族を対象といたします。
2. 申し込み締切りは**8月10日(木)**16時着信までとします。
3. 申し込みは1人1班を原則としますが、1, 2, 3 班中から 4, 5 班のいずれかに重複見学されることは差しつかえありません。
申し込み多数の場合は抽選により決定いたしますので、申し込みの際には第3希望まで順位をご記入下さい。なお、申し込みの際、第1希望金額をご送金願います。
4. 見学班決定後の見学会費の精算は大会中に見学班受付で行ないます。
5. 見学班が定員に満たぬ場合および見学先の突然の事情によりその班の見学中止あるいは行程を変更することがありますので、あらかじめご承知おき下さい。
6. 見学会が中止となった場合は、大会終了後2週間以内に会費を返金いたします。
ただし、お申し込みの取消しは**8月20日**16時着信までとし、以後は取消しの申し出があつても返金いたしません。
7. 各班とも工場内での写真撮影については、工場側の指示に従って下さい。
8. 見学会参加者は大会中に見学班受付でお渡しするリボンを必ず着用して下さい。
9. 見学会における宿舎(登別、洞爺、室蘭地区)の幹旋はいたしませんので、別記ご参照のうえ各自お申込み下さい。
10. 1, 2, 3 班から 4, 5 班を引き続き見学される方には、連絡を明示したパンフレットを見学班受付に準備いたします。

.....切.....取.....線.....

第74回講演大会「レadiesプログラム・懇親会」参加申込書

申込締切日 **8月10日(木)**16時着信まで

申込方法 申込書添付のうえ現金書留にてお申し込み下さい。

送付先 東京都千代田区大手町 1-5 経団連会館 3階

日本鉄鋼協会 見学会係

ふりがな	氏名		
会員氏名 会員との続柄		
会員勤務先		
通信先		
懇 親 会	10月1日(日)	出 欠	¥ 300円
レadiesプログラム	10月2日(月)	出 欠	¥ 1,300円
送金額			¥ 円

切
取
線

第74回講演大会講演募集

講演申込締切 6月30日

講演前刷原稿締切 8月10日

本会は第74回講演大会を今秋10月1日より3日間、北海道大学(札幌市)において開催することになりました。詳細は追って会告いたしますが、下記申し込み要領により講演募集をいたしますので、奮ってご応募下さるようご案内いたします。

なお、今回より募集方法が改められ、従来の第1種講演形式は取り止め、第2種講演形式のみとなりました。したがって内容を論文として投稿ご希望の方は、講演後早い機会に現在の規程による「講演論文」に準じてご投稿いただくか、あるいは「論文」として任意にご投稿をお勧めいたします。

講演申し込み上の注意

1. 講演申込み資格

講演者は本会会員に限ります。非会員の方で講演を希望される方は、所定の入会手続を済ませられたうえ、講演申し込みをして下さい。また共同研究者で非会員の方も入会手続をされるよう希望いたします。

2. 申込用紙

講演申込みは、添付講演申込み用紙をご使用下さい。

3. 申込用紙記載について

1) *印をのぞき(A), (B)の両方にご記入下さい。

2) プログラム編成上の参考としますので、「講演分類欄」に講演内容が下記のいずれに該当するかおよび基礎、応用の別をご記入下さい。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
原 料	燃 料 ・ 熱	耐 火 物	製 銑 (<small>ロアロイを含む 特殊製鉄・フエ</small>)	製 鋼 ・ 溶 解	造 塊	塑 性 加 工	熱 処 理	鉄 鋼 の 組 織 ・ 性 質	鑄 物	溶 接 (<small>溶接技術全般</small>)	腐 食 ・ 表 面 処 理 ・ 防 食	分 析	試 験 ・ 検 査 技 術	計 測 ・ 自 動 制 御	I E そ の 他 一 般 技 術	そ の 他

3) スライドの要否は該当するものに○印をつけて下さい。

4) 講演者には必ず氏名の前に○印をつけて下さい。

5) 講演内容の要旨は100字を限度としてご記入下さい。

4. 申込みの受理

別記申し込み要領をご覧のうえお申し込み下さい。ただし下記の申し込みは理由の如何にかかわらず、受付はいたしませんので十分ご注意下さい。

1) 所定の用紙以外の用紙を用いた申し込み

2) 必要事項が記入されていない申し込み

3) 講演内容が鉄鋼の学術、技術に直接関連がないと認められる場合

4) 単なる書簡または葉書による申し込みならびに電報、電話による申し込み

東京都千代田区大手町 1-5 経団連会館 3階
日本鉄鋼協会 編集課 話電 東京(03)279-6021(代表)

講演申込要領

1. 講演の内容 鉄鋼の学術、技術に直接関連あるオリジナルな発表。
(設備技術、I Eなどに関する発表を歓迎いたします)
2. 講演申込締切 昭和 42 年 6 月 30 日 (金) 着信厳守のこと
3. 申込方法 別記「講演申し込み上の注意」をご覧のうえ、綴込みの講演申込用紙に必要事項をご記入、25円切手(オフセット用原稿用紙送料)を添えお申し込み下さい。
4. 講演時間 1 講演につき講演 15 分、討論 5 分。
5. 講演前刷原稿 講演前刷原稿はオフセット印刷いたします。
1) 申し込み受付後、講演者に所定のオフセット用原稿用紙をお送りいたしますので、原稿用紙 1 枚(表、図、写真を含め 1300 字)に黒インクまたは墨で明瞭にお書き下さい。(執筆案内は原稿用紙送付の際同封いたします)
2) 原稿は読者が、研究内容、成果などを理解しやすいようにお書き下さい。
6. 前刷原稿締切 昭和 42 年 8 月 10 日 (木) 着信厳守のこと
7. 講演前刷 「鉄と鋼」第 11 号(臨時増刊)、第 74 回講演大会講演概要集として発行、会員全員に配付いたします。

第 74 回講演大会討論会講演募集

第 74 回講演大会の際に行なわれる討論会の討論講演を下記要領により募集いたしますので奮つてご応募下さい。
記

1. 討論テーマ
 - 1) 高炉におけるカーボン煉瓦の効果について
(建設時のねらいと実績、解体結果、適正使用箇所) 座長 雀 部 高 雄 君
 - 2) 非鎮静鋼塊の凝固と鋼塊性状について
(大型リムド鋼、セミキルド鋼鋼塊の偏析) 座長 荒 木 透 君
座長 岡 本 剛 君
 - 3) 耐候性鋼のさびとその防食効果 座長 岡 本 剛 君
 - 4) 鉄鋼生産技術への R I の利用
(加工技術を中心とする) 座長 加 藤 正 夫 君
座長 橋 口 隆 吉 君
 - 5) 鉄鋼の格子欠陥
2. 申込締切日 昭和 42 年 6 月 30 日 (金) 着信厳守のこと。
3. 申込方法 添付講演申込書に必要事項ご記入のうえ、申込書右肩に討論と朱書きし、25円切手(オフセット用原稿用紙送料)を添えお申し込み下さい。
4. 講演時間 原則として 1 講演 20 分。
5. 討論講演の採否 討論講演としての採否は討論会座長にご一任下さい。万一不採用となりましても、一般講演としてプログラムに編入いたしますのであらかじめお含みおき下さい。
6. 講演前刷原稿 講演原稿はオフセット印刷いたします。
1) 採用決定後、講演者に所定のオフセット用原稿用紙を送付いたしますので、原稿用紙 4 枚以内(表、図、写真を含め 5,600 字)に黒インクまたは墨で明瞭にお書き下さい。(執筆案内は原稿用紙送付の際同封いたします)
2) 討論原稿は「鉄と鋼」第 11 号(臨時増刊号)、第 74 回講演大会講演概要集に掲載いたします。
7. 原稿締切 昭和 42 年 7 月 25 日 (火) 着信厳守のこと。

会費納入についてのお願い

会費は毎年 12 月に 1 年分を前納するか、または毎年 12 月および 6 月の 2 回に分けて、おのおの 6 カ月分を前納していただくことになっております。

未納の方は下記によりお払込み下さいますようお願いいたします。

記

正会員年会費 2,400円、学生会員年会費 1,500円
宛 先 東京都千代田区大手町1-5 経団連会館 3 階
社団法人 日本鉄鋼協会
郵便振替口座 東京 193 番

(A) 講演申込書

(注 *印以外に明確にご記入下さい)

*受年月日		和文題目		研究者名 (講演者○印)
*受番付号		和文題目		勤務先
*講番演号		和文題目		学位称号
講分演類	基礎 応用	和文題目		氏名
要旨	要 旨			この講演内容を他機関で発表、 討論されたことがありますか。 なし、一部分、あり
連絡者名	連絡先 (勤務先・所在地)	発表場所	電話 ()	

(B)

*受番付号		和文題目	勤務先	学位称号	氏名 (講演者○印)
*講時演間		和文題目			
*講番演号		英文題目			
講分演類	基礎 応用	英文題目			
タイトル (○印)	要	英文題目	講演者名 (ローマ字)		

第10回技術講座開催のお知らせ

— 8月21日・22日 —

本会では会員各位をはじめ関係各位のご要望により、鉄鋼の製造、研究に従事する人々が常識として把握しなくてはならないテーマをとりあげ、それぞれの権威者から最近の動向、発展の方向についてお話し願ひ、討論を行なうために技術講座を開催してまいりました。

第10回技術講座は「鉄鋼製錬の化学工学」をテーマにとりあげ、下記演題をもとに講師にご講演をお願いすることになりました。多数会員ご参加下さるようご案内いたします。(聴講無料)

記

1. 日 時 昭和 42 年 8 月 21 日(月), 22 日(火) 9:30~17:00
2. 場 所 大和証券ホール 東京都中央区八重洲1-2-4
(国鉄東京駅八重洲北口下車徒歩5分)
(地下鉄=日本橋, 都電=呉服橋下車) 呉服橋交差点角
3. プログラム ー鉄鋼製錬の化学工学ー

第1日	(8月21日 9:30~17:00)		
	9:30 化学工学入門	東京大学	国井大蔵君
	13:00 化学工学の鉄鋼製錬への導入	八幡製鉄(株)東京研究所	瀬川清君
第2日	(8月22日 9:30~17:00)		
	9:30 化学工学の鉄鋼製錬への導入(続)	八幡製鉄(株)東京研究所	瀬川清君
	13:00 鉄鋼製錬プロセスの理論的解析	名古屋大学	鞆巖君
4. テキスト代 1,000円(予定)

なお、第9回技術講座「鋼の熱間加工の基礎」のテキストの正誤表を作成いたしましたので、ご入用の方はお申し出下さい。

「鉄鋼材料便覧」刊行のお知らせ

本会では、前月号の会告でお知らせしましたように、日本金属学会との共同編集になる「鉄鋼材料便覧」を6月下旬に丸善株式会社より刊行の運びとなりました。本書は、鉄鋼材料の使用者ばかりでなく、鉄鋼メーカーの技術者の方々にもきわめて役に立つ内容になっています。また下記のように会員特価の特典もございますので会員諸氏のご購読をぜひおすすめいたします。

記

1. 書 名 鉄鋼材料便覧
2. 編 集 日本鉄鋼協会, 日本金属学会
3. 規 模 A 5 判 1630 ページ
4. 内 容 (下記参照)
5. 定価および購入方法 定価 5,800円, 会員特価 5,300円
各会員宛に5月下旬に郵送いたします内容見本に「鉄鋼材料便覧会員特価購入券」が同封してあります。この特価購入券を本書をお買い求めの際(代金お支払いの時)書店にお渡し下さい。会員特価 5,300円 でご購入になれます。特価購入の期限は9月30日までです。

内 容

第1編 総 論

1. 鉄鋼材料の基礎 2. 温度による諸性質の変化 3. 熱処理による性質の変化 4. 表面処理による性質の変化
5. 腐食および防食 6. 表面処理 7. 溶接および溶接部の性質 8. 塑性加工および塑性加工による性質の変化
9. 粉末冶金と焼結材の性質 10. 機械的性質とその物理的意義 11. 材料の表面および内部の欠陥

第2編 鉄鋼材料

12. リムド鋼とキルド鋼 13. 構造用炭素鋼 14. 構造用低合金高張力鋼 15. 構造用合金鋼
16. ステンレス鋼およびステンレス合金 17. 耐熱鋼および超耐熱合金 18. 軸受鋼 19. ばね鋼
20. 工具鋼 21. 電磁気材料 22. 鋳鉄 23. 鋳鋼 24. 粉末冶金製品

第3編 鉄鋼材料の用途別選択と加工処理法

25. 一般構造用材料 26. 構造物用主要材料 27. 一般機械要素材料 28. 機械主要部品用材料
29. 治工具材料 30. 電磁機器部品用材料 31. 化学装置および部品用材料 32. 原子炉構造用材料
33. 航空機用材料 24. 航空機用材料

会員名簿についてのお知らせ

本会では、昭和42・43年度版会員名簿を本年11月上旬に発行すべく現在編集作業を進めております。会員相互の便宜のためにも記載事項はできるかぎり正確を期したいと思いますので、先にお配りいたしました会員名簿調査カードによる回答をまだお寄せになつていない方は必要事項をご記入の上至急本会宛お送り下さい。会員名簿購入希望の方は下記ご参照の上お申し込み下さい。

記

発行予定日 昭和42年11月1日
 体裁 B5判(活版印刷)
 価格 会員 300円、非会員 600円(送料本会負担)
 送金方法 現金書留にて1)送金目的2)申込部数3)名簿送付先住所を明記の上お送り下さい。
 (代金は随時お払い込み下さい。領収書は折り返し送付、名簿は発行後直ちにお送り致します)
 送金先 東京都千代田区大手町1-5 経団連会館3階
 (社)日本鉄鋼協会 編集課 電話東京(03)-279-6021

“鉄鋼規格便覧”刊行について

本会は、鉄鋼メーカーのみならず広くユーザーの要望により、主要各国の国家規格ならびに団体規格の抄訳を進めてまいりましたが、5月下旬“鉄鋼規格便覧”(鉄鋼技術講座 第6巻地人書館刊)として発行される予定であります。本書は、主要規格の鋼材の化学成分、機械的性質、試験検査、形状、寸法、重量等を表を中心にとまとめてあります。購読を希望の方は下記をご覧のうえお申し込み下さい。

記

1. 書名 鉄鋼規格便覧

2. 内容

第1章 鉄鋼材料の分類

鉄鉄およびフェロアロイの分類、鋼の分類
鋼材の分類

第2章 外国規格の概要

アメリカ(ASTM 他12規格) イギリス(BS)、ドイツ(DIN, VDEh) ソ連(ГОСТ), その他欧州(8規格)、インド(IS, IRSS)、中南米およびカナダ(9規格)、ISO

第3章 日本工業規格

概説、鉄鉄およびフェロアロイ、棒鋼および形鋼、鋼板および鋼帯、表面処理鋼板、鋼管、線材および二次成品、構造用合金鋼

3. 定価 6500円(送料150円)

ただし昭和42年6月30日までに申し込みのものに限り

個人会員特価 4800円(1人1冊限り) } (送料150円)
 法人会員特価 5800円

4. 申込方法

書名および送付先を明記のうえ、現金書留または振替にて直接下記にお申し込み下さい。

5. 申込先

東京都新宿区牛込中町15
 私書函東京牛込局56号、地人書館
 振替東京1532番・電話(260)7161~3

鋼材および機械構造用炭素鋼鋼材、ステンレス鋼および耐熱鋼、工具鋼、特殊用途鋼
 鑄鍛鋼

第4章 国内団体規格

日本溶接規格、日本高圧力技術研究会規格・基準、日本海事協会鋼船規則、石油学会規格、日本電機工業会規格、自動車工業会協定規格、日本国有鉄道規格、防衛庁規格

第5章 外国規格

ISO, ASTM, SAE, AISI, ASME, AMS, API, BS, DIN, VDEh, ГОСТ, 船級協会規格

“世界鉄鉱資源要覧”(限定版)頒布のお知らせ

科学技術庁資源調査会鉄鋼部会編さん 本会発行

わが国鉄鋼業が多岐の成長をとげている現在、その将来の発展の鍵は優秀な資源の供給源を得ることにあります。科学技術庁資源調査会鉄鋼部会がわが国で始めてこの問題に取り組み「世界鉄鉱資源要覧」をまとめ、本会で刊行いたしました。

本書こそは鉄鋼界待望の書であり、具体的内容を豊富に網羅している点で世界的にも類まれな画期的資料であります。

下記内容をご参照の上、本書を研究・調査に広くご活用下さるようご案内申し上げます。

主要目次	1. 鉄鉱資源一覧表	大きさ B4変形判 (24.5cm×29cm) 頁数 140頁 地図 16葉 装幀 本クロス上製本 定価 6000円(会員) 8000円(非会員) 〒 本会負担
	2. 国連方式による鉄鉱床分類法の説明	
	3. 鉱石輸送距離表と港湾概況表	
	4. 鉄鉱資源分布図	

○申込方法 現金書留にて①送金目的②注文冊数③送金額④氏名⑤送付先住所を明記してお申し込み下さい。代金受領後送本致します。

なお送付途中破損のおそれがありますので、東京都内および近郊の方はできるかぎり本会までお越し下さい。

○申込先 東京都千代田区大手町 1-5 経団連会館3階
(社) 日本鉄鋼協会 編集課

訪独ベネルックス使節団報告書

“ベネルックスおよび西独鉄鋼業の概況”刊行について

本会が西ドイツ、ベネルックスに派遣いたしました、鉄鋼使節団は帰国後数回にわたり会合し、報告書のとりまとめ作業を進めてまいりましたが、2月下旬に発行されました。

本報告書は技術を中心に、鉄鋼業の再編成問題にもふれ、転換を迫られている欧州鉄鋼業の最近の動向を解明しております。購読を希望される方は、下記をご覧のうえお申し込み下さい。

記

1. 書名	ベネルックスおよび西独鉄鋼業の概況			
2. 内容	第1篇	ベネルックスおよび西独鉄鋼業の概況		
	第1章	エネルギー	第9章	鑄鍛鋼
	第2章	原料	第10章	特殊鋼
	第3章	輸送	第11章	研究
	第4章	製鉄	第12章	自動制御
	第5章	製鋼	第13章	規格
	第6章	鋼板	第14章	教育
	第7章	条鋼	第15章	労働安全
	第8章	鋼管	第16章	再編成
	第2篇	訪問記		
	第1章	諸研究機関・研究所		
	第2章	諸工場		
	第3篇	座談会		
3. 価格	会員 1500円, 非会員 2000円 (送料本会負担)			
4. 申込方法	書名および送付先を明記のうえ、代金を添え現金書留にて申し込み下さい。			
5. 申込先	東京都千代田区大手町 1-5 経団連会館3階 日本鉄鋼協会 編集課			

学協会記事

金属関係学協会東北支部連合 第5回研究発表会

日本鉄鋼協会、日本金属学会、日本鋳物協会、日本鋳業会、溶接学会の各東北支部が連合して下記により研究発表会を開催いたします。

1. 日 時 9月15日(金) 9:00~17:00 研究発表会
9月16日(土) 10:00~12:00 見学会—東北大学金属材料研究所
2. 会 場 東北大学工学部金属材料工学科 (仙台市南六軒丁)
3. 研究発表申込要領
講演希望学協会支部名、講演題目、講演者名を記し7月10日までに申し込むこと。
申し込み者には所定の原稿用紙を送りますので7月31日までに講演概要執筆のうえ返送のこと。
4. 参加申込要領
氏名、連絡先、勤務先、講演概要などの必要部数(1部300円の予定)
見学会の出欠を記入のうえ、7月31日までに申し込むこと。
5. 申 込 先 日本鉄鋼協会東北支部(仙台市南六軒丁 東北大学工学部金属材料工学科内)

鋼構造新規準講習会

1. 主 催 日本建築学会
2. 後 援 日本鉄鋼協会ほか
3. 開催地および会期
東京(6月29, 30日), 名古屋(7月5, 6日), 大阪(7月6, 7日), 岡山(7月7, 8日), 金沢(7月10, 11日), 新潟(7月13, 14日), 高松(7月10, 11日), 松山(7月13, 14日), 広島(7月11, 12日), 山口(7月14, 15日), 福岡(7月17, 18日), 札幌(7月17, 18日), 釧路(7月20, 21日), 仙台(7月24, 25日), 横浜(7月26, 27日)
4. テキスト (イ)鋼構造設計規準案
(ロ)JASS6 鉄骨工事仕様書
(ハ)鋼管コンクリート構造計算規準, 同解説
5. テキスト代金
会員 1500 円 (本会会員含む), 非会員 2000円

実働荷重における疲労に関するシンポジウム

- | | |
|-------|-------------------------------------|
| 共 催 | 日本材料学会、日本鉄鋼協会関西支部ほか |
| 日 時 | 昭和 42 年 9 月 22 日 (金) 9:30~17:00 |
| 場 所 | 大阪科学技術センター (大阪市西区1丁目) |
| 定 員 | 100 名 (申込み先着順, 参加費無料) |
| 前 刷 | 1冊 600 円 |
| 申込方法 | 9月9日(土)までに前刷代金をそえて申し込むこと。 |
| 申 込 先 | 日本材料学会シンポジウム係宛 (京都市左京区吉田泉殿町1番地の101) |
| 講 演 | プログラム回転曲げ疲れ強さにおける強さと変形, ほか 14 講演 |

第10回自動制御連合講演会講演募集要項

主催学協会 化学工学協会, 計測自動制御学会, 中部自動制御研究会, 日本機械学会, 日本自動制御協会, 日本繊維機械学会

参加学協会 日本鉄鋼協会, 応用物理学会, 計装研究会, 電気学会, 電気通信学会,

幹事学協会 日本自動制御協会 京都市左京区山端一丁目1番地 京都大学工学研究所修学院分室内 Tel 78-6125・79-1094)

開催期日 昭和42年11月2日(木)～4日(土)

会場 大阪大学工学部
(大阪市都島区東野田九丁目)

講演申込 ①講演希望者は所属の主催または参加学協会を通じて指定の申込用紙により申し込むこと。
②講演内容は発表されたものでもさしつかえないが, なるべく最近の研究で学術的なものが望ましい。
③講演時間は約20分(討論を含む)の予定。
④講演の採否などは運営委員会に一任願います。
⑤申込用紙は所属学協会へ申し出ること。

⑥お申し込みになりました講演のお取り消しはできませんからご注意ください。

部門 第1部 制御理論とシステム
第2部 制御要素と機器
第3部 応用
第4部 計測

講演申込締切期日 昭和42年7月31日所属学協会必着

講演前刷 講演者は前刷原稿を必ず期日までに直接日本自動制御協会へ提出してください。

①講演前刷原稿締切期日
昭和42年9月10日(必着)

②前刷原稿は規定の原稿用紙2枚(図, 表, 写真を含めて邦文にて2,600字以内)に明りょうに墨書してください。なるべく余白をさけるよう留意してください。

③前刷原稿の用紙および書き方の詳細は幹事学協会から講演申込者に送付いたします。

④講演前刷はオフセット印刷になりますから写真も入れられます。所定の用紙以外の用紙に書いた原稿は受け付けません。

応力測定に関する講習会

共催 日本材料学会, 日本材料学会中部支部

協賛 日本鉄鋼協会ほか8学協会

期日 昭和42年8月22日(火)～25日(金)

会場 名古屋工業大学(名古屋市昭和区御器所町
Tel 731-2531)

第1日 銅メッキ応力測定法, ほか1件
第2日 応力塗料, ほか3件
第3日, 第4日 実習

聴講料 講義および実習
会員 8000円, 非会員 9000円

講義のみ
会員 3500円, 非会員 4000円

申込締切 昭和42年8月10日(木)

申込先 日本材料学会講習会係
(京都市左京区吉田泉殿町1-101,
Tel 76-5321)

鋼構造物の亜鉛メッキによる防食に関するシンポジウム

主催 日本金属腐食会議

日時 昭和42年7月14日(金) 13:00～17:00

場所 金属材料技術研究所講堂(東京都目黒区中目黒2-3-12)

講演 亜鉛による防食の基礎, ほか4件

連絡先 金属材料技術研究所 Tel 東京(712)3180

第20回塑性加工シンポジウム

主催 日本塑性加工学会

日時 昭和42年7月25日(火) 9:30～17:00

場所 発明会館(東京都港区芝西久保明舟町)

講演 光弾性および光塑性法の応用
偏光流性実験法の塑性加工への応用, ほか5件

前刷の申込 代金 会員 1000円(本会会員も含む),

非会員 2000円

申込締切 7月20日

申込方法 ハガキ大用紙に, 氏名, 通信先, 出欠, 前刷冊数, 所属学協会名を明記のうえ代金を添えて申し込むこと。

申込先 日本塑性加工学会(東京都港区麻布新竜土町10 東京大学生産技術研究所内)